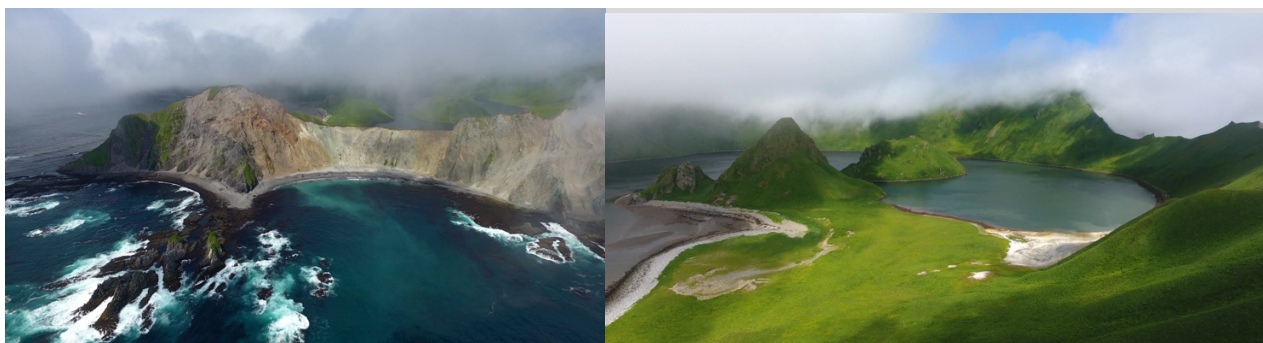


2019年 海鳥の聖域 千島列島探検クルーズ 13日間

～ 手付かずの海鳥列島に希少ウミスズメの求愛を求めて ～

企画：有限会社 ネイチャーライブ 旅行企画・実施：株式会社 西遊旅行



最大の目的地であるヤンキチャ島と内湾で渦を巻くように飛ぶエトロフウミスズメとシラヒゲウミスズメの混群

この探検クルーズは、37年間を天売島の海鳥保護・撮影に費やし、世界の海鳥を追い続ける寺沢孝毅が行程を組みました。この探検の最大の目的は、手付かずの海鳥繁殖地がどれほど生命力に満ちているかを確認し、とりわけ世界でも限られた場所でしか繁殖しないシラヒゲウミスズメの繁殖地を目指し、その求愛行動を記録することです。繁殖初期は、飾り羽や嘴の色彩が特に美しく、艶やかで印象的なディスプレイが見られるでしょう。また、一時は絶滅に瀕したラッコの現状や、クジラやオットセイなどの海生哺乳類にも目を向けます。その一方で、無人島への漂着ゴミの実情を視察し、海洋環境にもスポットを当てます。無人島が連なる野生の聖域に迫り来る環境問題をテーマにした探検クルーズです。あなたも私と一緒に、地球の素顔の目撃者になりませんか？ (2018.10.13 寺沢 孝毅)

この探検クルーズの企画は、2017～2018年に西遊旅行が行なった事前調査を兼ねた現地クルーズにおいて収集された最新情報をベースに、1994年に実施した寺沢孝毅の北千島探検取材の経験を加味してプログラム化しました。掲載写真は、西遊旅行が調査クルーズで撮影したものであり、著作権は西遊旅行が有します。

探検クルーズに使用する船は、ロシア科学アカデミーの海洋調査で活躍するアフィナ号です。潜水調査のための設備があり、海獣類の生息地などでは水中撮影も試みます。また、海鳥繁殖地として素晴らしいとの話があるものの、情報が出てこないチリンコタン島の調査を、日本人として初めて試みます。

	日付	場所	時間	交通機関	適用
1	6月15日 (土)	成田 ウラジオストック	15:40 19:05	S76282	** 成田空港第2ターミナルのS7航空チェックインカウンターへは13:40に集合** 空路、ウラジオストックへ。空港近くのホテルへ。 (ウラジオストック：ヴェニスホテル泊)
2	6月16日 (日)	ウラジオストック ペトロパブロフスク・カムチャッキー	07:35 12:45	SU5614	空路、カムチャッカのペトロパブロフスク・カムチャッキーへ。着後、ホテルにて休養および準備。 ※夕食はカムチャッカの海の幸を使ったイタリアン「ダ・ビンチ」へご案内。 (ペトロパブロフスク・カムチャッキー：アバチャホテル泊)
3	6月17日 (月)	ペトロパブロフスク・カムチャッキー	12:00	アフィナ号	アフィナ号は12～13時ごろ、アバチャ湾を出航予定。 千島列島9泊10日の旅の始まりです。アバチャ湾内、スリチコフ島付近の航行。イトピリカやウミバトも現れます。 (アフィナ号泊)
4	6月18日 (火)	クリル第1海峡 シュムシュ島 パラムシル島		アフィナ号	06:30 ロパチカ岬・クリル第1海峡通過 08:00-11:00 シュムシュ島トドのコロニーと海岸のラッコ クリル第2海峡の通過*エベコ火山の噴火チャンス(2018年現在) 13:00-20:00の間でパラムシル島シエレゴヴァ湾、クラシエニコヴァ湾でラッコを探します。クリル第3海峡、第4海峡では鯨類との遭遇のチャンスもあります。 (アフィナ号泊)
5	6月19日 (水)	オンネコタン島 チリンコタン島		アフィナ号	午前、オンネコタン島のニモ湾に上陸(ゴミ問題取材、日本の戦績も見学)。 夕方、チリンコタン島でのゾディアッククルーズ(海鳥調査ゾディアック)。 (アフィナ号泊)
6	6月20日 (木)	ヤンキチャ島		アフィナ号	午前、クレーター内をゾディアッククルーズ(シラヒゲウミスズメ・エトロフウミスズメ)。 午後、上陸しハイキングや天然温泉での温泉浴。 夕方よりエトロフウミスズメの帰巢風景撮影。 (アフィナ号泊)

7	6月21日 (金)	ヤンキチャ島		アフィナ号	午前、クレーター内ゾディアッククルーズ（シラヒゲウミスズメ・イトロフミスズメ）。 午後、リポンキチャ島、スレイドネワ岩礁のキタオットセイのコロニーなど訪問。 夕方より再びイトロフミスズメの帰巢風景撮影。 (アフィナ号泊)
8	6月22日 (土)	ヤンキチャ島		アフィナ号	引き続きヤンキチャ島での撮影日。前日までに撮影が順調であれば、シムシル島のプロウトナ湾を訪問します（ヤンキチャ島から片道3～4時間）。 夜にはライコケ島へ向けて北上開始します。 (アフィナ号泊)
9	6月23日 (日)	ライコケ島 エカルマ島		アフィナ号	午前、ライコケ島にて海鳥観察ゾディアッククルーズ。 夕方、エカルマ島にて海鳥観察ゾディアッククルーズ。 (アフィナ号泊)
10	6月24日 (月)	マカンルシ島 アンツィフェローバ島		アフィナ号	午前、マカンルシ島にてゾディアッククルーズ。＊海鳥など調査ゾディアック。 午後、アンツィフェローバ島にてゾディアッククルーズ（トド、ツノメドリの観察）。 その後、パラムシル海域・クリル第4海峡の鯨類を探します。 (アフィナ号泊)
11	6月25日 (火)	アトラソヴァ島 クリル第1海峡		アフィナ号	アトラソヴァ島北岸または東岸上陸・ゾディアッククルーズ。 ＊ ＊ 天候 & 撮影予備日を兼ねる ＊ ＊ 午後に クリル第1海峡を通過し北上を開始。 (アフィナ号泊)
12	6月26日 (水)	ペトロパブロフスク・カムチャッキー		アフィナ号	午前、スタリチコフ島通過。 昼頃、ペトロパブロフスク・カムチャッキーに到着。 着後、ホテルへ。ご希望の方は、イクラやサケ・カニなどの海産品の市場へ。 (ペトロパブロフスク・カムチャッキー：アバチャホテル泊)
13	6月27日 (木)	ペトロパブロフスク・カムチャッキー ウラジオストック ウラジオストック 成田	10:00 11:30 13:20 14:40	S76216 S76281	空路、ウラジオストックへ。航空機を乗り換え帰国の途につきます。

※利用航空会社：エセペン航空、アエロポート・ロシア航空 ※全食事付き（朝 12、昼 10、夜 12、機内食除く）

※ホテルは日程表記載のホテルまたは同等クラスのホテルを予定。

※千島列島の船旅の行程は天候に大きく左右されます。最大限の訪問努力をいたしますが、日程表記載の島の訪問・野生動物や海鳥の観察を補償したものではありません。

■ご旅行費用 /Tour Cost

2019年6月15日（土）～6月27日（木）13日間 旅行主催の西遊旅行から添乗員1名が同行

参加人数 最少催行人員 9名/ 最大12名様

東京発着 988,000円（相部屋・船は基本カテゴリーの部屋利用の場合）

お一人部屋使用料（ウラジオストックとペトロパブロフスク・カムチャッキー計3泊）：20,000円

アフィナ号の一人部屋利用は（最大4部屋予定）9泊10日で225,000円

査証代：ロシア（無料。但し出発直前のお申し込みなど、査証取得を急ぐ場合は実費がかかります。）、代行手数料（4,320円）、写真1枚。旅券の残存有効期間はロシア出国時6ヶ月以上、査証欄の余白が見開き2ページ以上必要です。

成田空港施設使用料：2,610円

国際観光旅客税：1,000円

※ 西遊旅行から添乗員1名が同行し、全行程のご案内・船内食事のお世話などいたします。

※ 海外での空港諸税は旅行代金に含まれています。

※ 別途、航空機の燃油サーチャージ（付加運賃）は2,900円です（2018年10月2日現在）。原油価格の変動により変更することがあります。

※ 途中で病院などがないため参加者全員に健康質問書を、必要によっては健康診断書の提出をお願いいたします。

■クルーズ旅行 取消料の規定について

本コースは旅行全日程の50%以上がクルーズ泊となるコースのため、取消条件が一般のツアーとは異なり、下記の通りとなります。ご旅行お申し込みの際には、海外クルーズ保険を同時にお申し込みされることをおすすめいたします。

<取消日と取消料> ※取消日は旅行開始日の前日から起算します。

旅行開始日の前日から起算して120日前～91日前まで	……………	ご旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算して90日前～ご出発当日（ご旅行開始前）	……………	ご旅行代金の50%
旅行開始後又は無連絡不参加	……………	ご旅行代金の100%

企 画： 有限会社 ネイチャーライヴ

旅行企画・実施：株式会社 西遊旅行

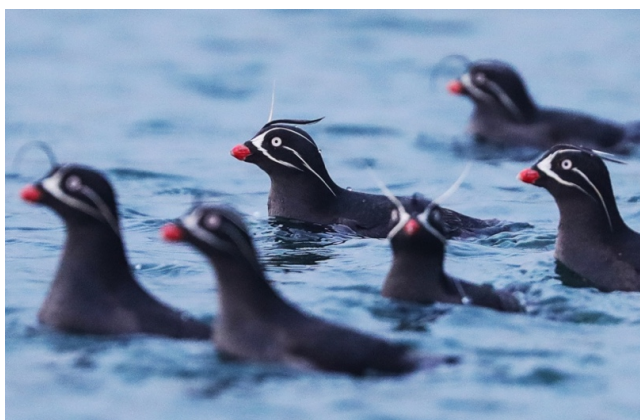
東京本社：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2 共同ビル神保町3階

TEL: [03-3237-1391](tel:03-3237-1391) FAX: [03-3237-1396](tel:03-3237-1396)

大阪支社：〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-15 梅田イーストビル4階

TEL: [06-6367-1391](tel:06-6367-1391) FAX: [06-6367-1966](tel:06-6367-1966)

観光庁長官登録旅行業第一種 607号 | 一般社団法人日本旅行業協会 正会員



大繁殖地との期待が高まるヤンキチャ島のシラヒゲウミスズメ



釣った新鮮な魚を利用して食事を充実させる予定